



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2025~2026 年度 高山中央 RC 会長テーマ

親睦・学び・成長・奉仕 ~地区と地域の未来を考えて~

よいことの
ために
手を取りあおう



◆会長 都竹 太志 ◆幹事 井ノ下 雄志 ◆会報委員長 今井 哲也 ◆会報担当 西田 智

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階
TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30~

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1411回	56名	56名	41名	——	73.21%
前々回 1409回	56名	56名	43名	2名	80.36%

●点鐘

●ロータリーソング

●四つのテスト

●ビジター・ゲストの紹介

●会長の時間

会長 都竹 太志

皆さま、こんにちは。本日も例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

今月の月間はロータリー財団に関してです。今回は「寄付とは何か」「手をとり合うとは何か」について、少し違った角度からお話をさせていただきます。

まず、改めてロータリー財団の使命をご紹介します。

それは、「世界理解・親善・平和を推進し、健康状態の改善、教育の支援、貧困の救済を通じて、世界中の人々の生活を改善すること」です。

1917年、たった 26 ドル 50 セントの寄付から始まったロータリー財団は、今では年間約 4 億ドルもの支援を世界中に届けるグローバルな人道支援機関へと成長しました。

ポリオ根絶に向けた長年の取り組みをはじめ、水と衛生、母子の健康、教育、平和構築、地域社会の経済開発など、その活動分野は多岐にわたります。そして、これらすべての活動の基盤となっているのが、私たちロータリアン一人ひとりの「寄付」と「行動」です。

突然ですが。SMAP の「世界に一つだけの花」という歌をご存じの方が多いと思います。「ナンバーワンにならなくてもいい もともと特別なオンリーワン」このフレーズは、今も多く人の心に残り続けています。

それぞれの違う命、それぞれの存在が尊く、誰もがかけがえのない「一輪の花」であるということです。

我らの生業



つまり「個の尊重」と「つながり」の大切さを教えてくれます。

次に、紹介したいのが「We Are The World」です。1985 年、アフリカの飢餓を救うためにアメリカ中のトップアーティストたちが集まり、チャリティソングとして発表されたこの名曲は、次のような歌詞で始まります。

There comes a time when we heed a certain call
When the world must come together as one
(世界が一つになる時が来た)

というメッセージで始まります。これは、今年の RI 会長テーマ「UNITE FOR GOOD - 良いことのために手をとり合おう」とも深く通じています。どちらの曲も、「一人ひとりの価値」と「互いのつながり」の大切さを歌っているのです。そして、まさにそれが「寄付」という行為の核心に通じます。

寄付というと、「お金を出すこと」「何かを手放すこと」と考えがちですが、本来の寄付とは、誰かに「信じる心」を託す行為です。

例えば、見ず知らずの誰かの教育を支える奨学金や、遠く離れた地の医療・食糧支援。私たちはその成果を直接見ることはできません。しかし、私たちは「きっと誰かの未来が変わる」と信じて寄付を行います。

つまり寄付とは、「私はあなたを信じています」「あなたの未来に価値があると信じています」という静かなメッセージであり、言葉にしなくても伝わる「愛の表現」だと考えます。

世界には紛争、貧困、気候変動、医療不足といった課題が山積しています。一人の力では到底解決できないことばかりです。しかし、世界中のロータリアンが思いを一つにして行動すれば、確実に世界は変わります。

SMAP の歌に登場する花屋さんは、どの花が一番美しいかを決めません。同じように、ロータリー財団も、誰かの命を選ぶことはありません。

「すべての命は等しく尊い」という理念のもと、私たちの寄付は、世界のどこかで苦しむ人々に確実に届いているのです。

さらに、「We Are The World」が示すもう一つの重要なメッセージは、世界の問題は他人事ではないということです。私たちは誰かが動くのを待つではなく、自分が行動の主体であることが求められています。

寄付とは、「誰かが助かればいい」ではなく、「私が手を差し伸べる」という意思の表れです。

金額の大小ではありません。そこに込められた“想い”こそが、寄付の価値なのです。

ロータリーの活動は決して一人で完結するものではありません。寄付も奉仕も、「共にやるからこそ」意味があります。

「寄付とは何ぞや」——それは、自分の手が届かない誰かの人生にそっと光を灯すこと。

「手をとり合う」とは、一緒にその灯りを守り、育てることです。

目の前の現実をすぐに変えることは難しいかもしれません。しかし、誰かの未来を変えることなら、必ず可能です。ロータリアンが信じるべきは、その“可能性”です。

皆さま、このロータリー財団月間を機に、もう一度「寄付とは何か」、そして「手をとり合うとは何か」を考えていただけたら幸いです。

世界には、まだまだたくさんの「助けを必要としている花」があります。その一輪一輪に、私たちの思いを届けるために、皆さまの温かいご協力をロータリー財団にお願いいたします。

ご清聴、ありがとうございました。

●幹事報告

幹事 井ノ下 雄志

◎R I 本部より

・ザ・ロータリアン誌



◎国際ロータリー第 2630 地区
ガバナー事務所より

- ・2028-29 年度ガバナー候補者の推薦について
- ・バギオだより
- ・2026 年台北国際大会通信

○高山ロータリークラブより

- ・インタークト飛騨・中濃・東農グループ協議会のご案内

日時：12 月 7 日(日)10:00～17:00

会場：ひだホテルプラザ

- ・例会変更のお知らせ

11 月 20 日(木) 15:00～ 70 周年記念式典
ホテルアソシア高山リゾート

11 月 27 日(木) 休会 定款により

●3 分間スピーチ

渡辺 修治



●出席/プログラム委員会

委員長 角竹 正至

皆様改めましてこんにちは。

一昨日、昨日と開催されました地区大会にご参加された皆様方大変お疲れさまでした。

残念ながら、私は毎年地区大会の時期が秋の繁忙期と重なりますので参加をしたことがございませんが、一昨日 LINE にて会長幹事が送ってくださった、都竹会長がマツケンサンバやフォーチュンクッキーを満面の笑みと華麗なボックスステップで踊っていらっしゃる映像を見て、楽しそうだな～来年こそは店を休みにしてでも参加したいな～と思いました。さて、本日は地区大会報告ということで、小出さん、杉本さん、井ノ下さんに報告をしていただきます。残念ながら参加できなかった皆様方にも楽しがが伝わるような臨場感あふれるスピーチをお願いいたします。



＜地区大会報告＞

小出 貴博

昨日 11 月 9 日地区大会 2 日目に参加してきました。

朝早く 5 時半集合で少し不安がありましたが、ドタキャン 1 名・遅刻 1 名での出発となりました。会場は三重県桑名市 柿安シティホールにて行われました。

会場ロビーは活気があり、多くの方が参加していました。

玉野ガバナーと安田地区代表幹事のお人柄や盛り上げようとするホスピタリティ溢れる大会がありました。

オープニングには、「ブラタマノ」という某番組のパクリで、桑名市を紹介していました。

玉野ガバナーと安田地区代表幹事が蛤を食べてい

るのを、見ると、というシユールな時間でした。基調講演ですが、神野正博さんが「RISE with ROTARY のための公共イメージ向上」を話されました。

ロータリーでの在籍理由を、周囲の方に話すことで、公共イメージの向上につながる的なことでした。能登の大きな病院の先生で、震災に備えて免震構造の病院を建て、それが生かされた話をされました。

記念講演ではアメリカグレンデール RC の中曾根牧子さんが話されました。

ロータリー財団国際親善奨学生から始まり、RC に入会～会長～地区ガバナーまでやられた方で、奨学生になれたことがきっかけで、人生形成ができガバナーをするまでになれたとのことでした。

今回の地区大会も帰ってきてからの、後拭きも含め、親睦できたと思います。

地区大会 IN 桑名の感想

昨日、地区大会 IN 桑名へ初めて参加してまいりました。

出発が 5 時 30 分という事でしたので、4 時 30 分に起き 5 時 00 分には集合場所へと思っておったのですが、前日ゴルフコンペがありスコアもガタガタであったため、夜中 1 時までやけ酒をくらってしまいました・・・いつも講習会等では大体ウトウトする私だったので、なんと講演の最初から最後まで目を閉じる事なく聞き入っておりました。

ガバナーとなる方々の人間性が素晴らしいことも勿論 2630 地区の全てのロータリアンが全員で支えあっている事を実感できた大会で ありました。今後の地区大会も積極的に参加しようと思いましたし、凄く充実した 1 日であったことに感謝いたします。

今後は高山中央ロータリークラブを盛り上げて皆様と共に「奉仕と親睦」の輪を広げていきたいと思いますので、新人杉本へのご指導の程宜しくお願いし、地区大会 IN 桑名の感想とさせていただきます。

地区大会 in 桑名報告

まずは、今回の地区大会にご参加いただいた 25 名の皆さん、そして都合で参加できなかつたものの登録をしてくださった 7 名、合計 32 名の皆さんに、心より感謝申し上げます。

他クラブの参加登録は、高山ロータリークラブが 12 名、高山西ロータリークラブが 11 名でし

杉本 哲也



井ノ下 雄志



た。

その中で、私たち高山中央ロータリークラブが 32 名もの登録をいただけたのは、クラブ選出の岩本 AG を盛り上げたいという皆さんのお気持ち、そして何よりも岩本 AG のお人柄の賜物だと思います。私は、11 月 8 日の初日から岩本 AG 、都竹会長とともに大会に参加させていただきました。正午の開会とともに、愛知工業大学名電高等学校吹奏楽部によるオープニング演奏が始まり、会場中央の高台において玉野ガバナーが点鐘し、いよいよ地区大会がスタートしました。

その後、R I 表彰、各代表者によるスピーチ、大会決議の採択と進み、すべてが滞りなく行われました。

その採択の中で、来年度の地区大会は「大垣ロータリークラブ」をホストとして大垣市で開催されることが決定しました。是非今回行けなかった方も、来年度ご参加いただければと思います。

さて、今回の記念演奏会を担当された愛工大名電高校吹奏楽部の皆さん。本当に素晴らしいです。会場中のロータリアンが感動していたと思います。指揮と MC を務められた先生の軽快なトークも印象的で、名電高校は男子のイメージがありますが、吹奏楽部には女性が多く、約 200 名もの大所帯。全国でも有名な強豪校で、全日本吹奏楽コンクールにはなんと 50 回以上出場しているそうです。今回はその中から、全国大会に出場した 55 名が来てくれました。その中には日本一に輝いた経験のある演奏者もいたそうです。

演奏は、ただ楽器を奏でるだけではなく、マーチングバンドのように動きや踊りを交えたステージで、観ている側も自然と笑顔になる楽しい構成でした。さらに、私たち昭和世代が喜ぶように、「北の宿から」「北の酒場」「ルビーの指輪」「勝手にしやがれ」といった演歌も披露してくれました。生徒たちはその曲を知らなかったそうですが、短期間で素晴らしい完成度に仕上げてくれて、懐かしくも感動的な時間となりました。

今回の大会の準備には、相当なご苦労があったと思います。しかし、玉野ガバナーと安田代表幹事長は、その大変さを一切見せず、参加者を迎える側として、そして自分たちも楽しむ姿勢で大会を盛り上げておられました。

お聞きしたところ、今年度のガバナー選出は非常に難航し、年度開始ぎりぎりになってようやく玉野さんにお願いしてお引き受けいただいたそうです。十分な準備期間がなかったにもかかわらず、これほど立派に務めておられる姿に心から敬意を感じました。

そして、そんな玉野ガバナー、安田代表幹事とともに、大晩餐会のアトラクションで会場を盛り上げるご使命を果たされた我らが都竹会長。都竹会長も一緒に大会を心から楽しみ、会場を明るくしてくださる姿に、私も都竹会長の幹事として本当に誇らしい気持ちになりました。

大晩餐会の後には 2 次会も設けられ、初日の 1 日は本当にあつという間に過ぎていきました。それだけ充実した、心に残る地区大会だったと思います。

<11月のお祝い>

<会員誕生日>

高原 清人	S 32年11月 2日
山本 辰男	S 27年11月 21日
村井 繁喜	S 41年11月 25日
清水 幸平	S 26年11月 26日

<夫人誕生日>

都竹 太志	文子	11月 4日
平林 英一	紀子	11月 6日
高橋 厚生	佳美	11月 9日
松之木映一	洋子	11月 26日

<結婚記念日>

高原 清人	S 56年11月 2日
直井 宏文	H 24年11月 4日
足立 常孝	S 53年11月 8日
山本 辰男	S 53年11月 14日
渡辺 甚一	S 55年11月 15日
和田 良博	S 54年11月 17日
村井 繁喜	H 7年11月 19日
大原 誠	S 58年11月 20日
小林 幸平	H 27年11月 22日
周 信夫	H 5年11月 23日
角竹 正至	H 12年11月 29日
大坪 靖幸	H 8年11月 30日

<ニコニコ BOX>

先日のIMでは早朝よりお集まりいただきありがとうございました。皆様のご協力があってこそ素晴らしいIMが開催できました。心より感謝を込めてニコニコへ。 下田 徳彦

家内の誕生日に素敵なお花をありがとうございました。 都竹 太志

本日、地区大会報告の発表後に早退させて頂きますのでよろしくお願ひします。 小出 貴博

本日、早退致します。 中田 学

